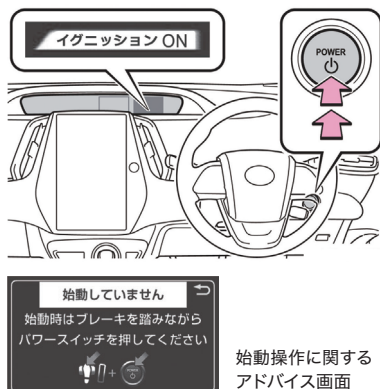


AC外部給電システム (ヴィークルパワーコネクタ)の使い方

例 プリウスPHVの場合 車種によって操作手順が異なります。

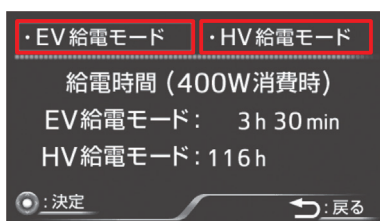
1



ブレーキを踏まずに、
パワースイッチを2回押して、
「イグニッション ON」状態にします。

始動操作に関するアドバイス画面が表示された時は、
ステアリングに装着されているメーター操作スイッチの
⬅️ を押して前の画面に戻します。

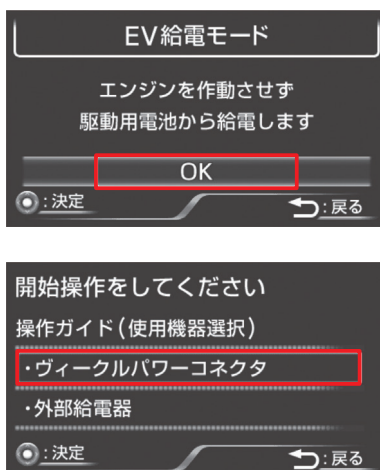
2



ステアリング右側のスイッチで
ディスプレイを操作し、
「EV 給電モード」「HV 給電モード」の
いずれかを選択します。

⬅️・➡️ を押して、ご希望の外部電源供給モードを選択し、
決定ボタンを押す。

3



給電モードを決定し、
「ヴィークルパワーコネクタ」を
選択します。

ディスプレイに確認画面がでたら「OK」で決定ボタンを押し、
決定ボタンを押したらディスプレイ上の設定が完了。

4



ヴィークルパワーコネクターの
コンセント差込口に電気製品の
コンセントを差し込んでください。

ヴィークルパワーコネクターの防水カバーを開け、
電気製品のコンセントを差し込む。

5



充電リッドを開け、
普通充電インレットに
ヴィークルパワーコネクターを
差し込みます。

充電リッドを開け、左側の普通充電インレットに、
ヴィークルパワーコネクターを差し込む。

6



ヴィークルパワーコネクターの
電源スイッチを2回連続で押すと、
充電インジケータが点滅から
しばらくしたのち、点灯に変わります。
点灯に変わった後、
電気製品の電源をONにしてください。

電源スイッチを2回連続で押し、
充電インジケータが点滅後、点灯。

2種類のモードについて

■ EV給電モード

駆動用電池に蓄えられている電力のみを使用して
AC外部電源供給を行います。電源供給可能な
駆動用電池の残量を下まわると、給電を終了します。

■ HV給電モード ※必ず屋外(換気の良い場所)でご使用ください。

AC外部電源供給中に電源供給可能な駆動用電池の残量を
下まわると、自動的にガソリンエンジンが作動して給電を
継続します。燃料残量警告灯が点滅すると、給電を終了します。

AC外部給電システム (ヴィークルパワーコネクター)を 安全にお使いいただく上での注意事項

お守りいただかないと思われ事故の原因となり、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。詳しくは取扱書をご覧くださいか販売店におたずねください。

[電源コード/配線]

■コードリールを使う場合、コードが発熱する可能性がありますので、コードはリールからすべて引き出してご使用ください。 ■コンセントに、二股などの分岐用コンセントを複数接続しないでください。コードが発熱する可能性があります。異常な発熱を感じたらただちに使用を中止してください。 ■車内のアクセサリコンセントに、使用する意図のない電気製品が接続されていないことを確認してください。AC外部給電を開始したときに、車内のアクセサリコンセントにも電源供給されることにより、それらの電気製品が作動するおそれがあります。 ■ヴィークルパワーコネクターの端子部および、普通充電インレットの端子部が濡れないようにしてください。 ■ヴィークルパワーコネクターの車外コンセントに水や液体・雪がかからないようにしてください。 ■ヴィークルパワーコネクターと普通充電インレットは、変換アダプターや延長コードなどを使用せず、必ず直接接続してください。 ■車外コンセントに電源プラグを接続した後は、防水カバーを確実にロックがかかるまで閉じてください。防水カバーがロックできないような大きな電源プラグは使用しないでください。 ■ヴィークルパワーコネクターの上に重量物を置いたり、物を引っかけたりしないでください。

[使用する電気製品]

■使用する電気製品の取扱書の注意事項に従ってください。一般の電気製品の多くは自動車内や屋外での使用は想定されていないため、次のような問題が発生する可能性があります。 ●特に外気温が低いときや高いときでは、故障や作動不良になる可能性 ●水平設置が必要な電気製品は、正常に作動しない可能性 ■防水仕様の電気製品を除き、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。 ■車両の状態によっては、給電機能が停止することがあるため、医療機器は使用しないでください。 ■次のような電気製品は正しく作動しないおそれがあります。 ●起動時の電力が大きい電気製品 ●精密なデータ処理をする計測機器 ●きわめて安定した電力供給を必要とする電気製品

[使用する電気製品の消費電力]

■合計消費電力は1500W以下でご使用ください。1500Wを超えると保護機能が作動し、給電機能が停止します。 ■定格消費電力合計が1500W以下であっても、起動時等に大きな電力を必要とする電気製品があります。その場合は、保護機能が作動して、給電機能が停止します。 ■定格消費電力が大きな電気製品(ホットプレートなど)の中には、コンセントを単独で使うことを必須としているものがあります。その場合、他の電気製品と併用しないでください。

[使用する電気製品の作動周波数]

■工場出荷時の電源設定周波数は車両によって異なります。車両の取扱説明書を確認し、電気製品の使用可能な周波数と車両の電源周波数が異なる場合は、販売店にご相談ください。

[車両の安全確保]

■HV給電モードではエンジンが作動することがあるため、次のことをお守りください。 ●使用中は車両から離れないでください。 ●誤って手を入れないようにボンネットは閉めてください。 ●地面が固く平らな場所に駐車し、できれば輪止めを設置してください。 ●必要に応じて、ドアやヴィークルパワーコネクターを施錠してください。 ■落雷の可能性のある天候の時はAC外部給電システムを使用しないでください。使用中、雷に気づいたときには使用を停止してください。 ■一部地域では駐車または停車中にエンジンを始動させた場合、条例に触れるおそれがありますのでご注意ください。

[換気]

■HV給電モードではエンジンが作動することがあります。給排気設備のない車庫内などの換気の悪い場所や囲まれた場所(雪が積もった場所)などでは、酸素欠乏のおそれや、排気ガスが充満したり滞留したりするおそれがありますので、使用しないでください。

[外気温が高いとき]

■炎天下など、車内が高温になる状態で使用すると、給電機能が停止することがあります。その場合は、車両を日陰等に移動したり、エアコンを使用するなどして室内温度を下げてください。

[外気温が低いとき]

■特に外気温が低いときは、給電機能が作動できないことがあります。その場合は、車両を走行させるなどし、車両を暖めると使用できる可能性があります。

[エアコンの使用に関する警告]

■AC外部給電システムの使用中は、お子様や介護を必要とする方、ペットを車内に残さないでください。エアコンを使用していても、システムの自動停止等により室内が高温、または低温になる場合があり、熱中症・脱水症状・低体温症になり、重大な障害に及ぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。